

商品名 セロシオンカプセル10 医薬品基本情報

薬効	3919 その他の肝臓疾患用剤	一般名	プロパゲルマニウムカプセル
英名	Serocion	剤型	カプセル
薬価	136.50	規格	10mg 1カプセル
メーカー	三和化学研究所	毒劇区分	

セロシオンカプセル10の効能・効果

HBe抗原陽性B型慢性肝炎のウイルスマーカーの改善

セロシオンカプセル10の使用制限等

1. 黄疸、肝硬変又はその恐れ・疑い、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 薬剤過敏症の既往、黄疸の既往、インターフェロン投与終了直後、重篤な腎障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

セロシオンカプセル10の副作用等

1. B型慢性肝炎の急性増悪、黄疸、著しいトランスアミナーゼ上昇、重篤な肝機能障害、肝不全	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 腹痛、便秘、眠気、不眠、黄疸、ビリルビン値上昇、脱毛、月経異常	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. 過敏症、発疹、そう痒、蕁麻疹、湿疹、食欲不振、嘔気、嘔吐、下痢、腹部膨満感、胸やけ、口内炎、胃もたれ感、めまい、振戦、頭痛、手足のしびれ、抑うつ、AST上昇、ALT上昇、好酸球増多、白血球減少、倦怠感、関節痛、血圧上昇、胸痛、発熱、浮腫	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
4. 慢性肝炎が急性増悪、死亡、B型慢性肝炎の急性増悪	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

5. 著しいHBV-DNA増加、著しいDNA-P増加

記載場所 使用上の注意

頻度 頻度不明

セロシオンカプセル10の相互作用

1. 薬剤名等： インターフェロン投与終了直後

発現事象 ウイルス量の増加、肝機能の悪化

投与条件 -

理由・原因 肝機能の悪化、ウイルス量の増加

指示 注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.